



2020年6月期 第1四半期 決算補助資料

2019.11.11

1. 決算の概要

2. セグメント別状況

3. 2020年6月期（第62期）の見通し

【本資料についてのご注意】

- 本資料の記載金額は原則、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- 本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- 本資料に記載されている会社名、システム名、製品名は、一般に(株)構造計画研究所ならびに各社の商標または登録商標です。

1

決算の概要

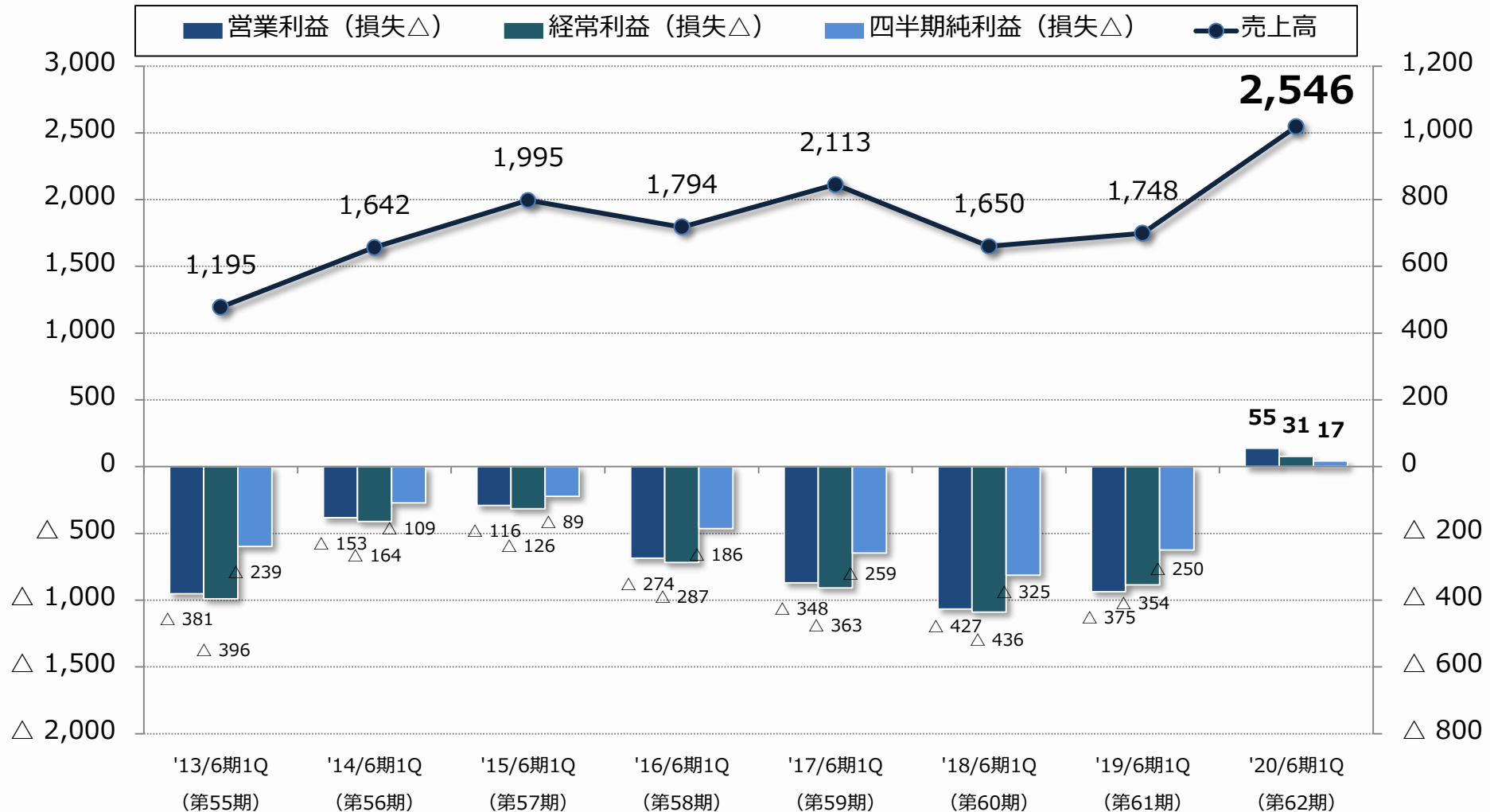


(単位：百万円)

	'19/6期1Q (第61期)	'20/6期1Q (第62期)	増減額	増減率
売上高	1,748	2,546	797	45.6%
売上原価	959	1,176	216	22.6%
売上総利益 (利益率)	789 (45.2%)	1,370 (53.8%)	580	73.5%
販売費及び一般管理費	1,164	1,314	149	12.9%
営業利益 (△損失) (利益率)	△375 (△21.5%)	55 (2.2%)	430	—
営業外損益	20	△23	△44	—
経常利益 (△損失) (利益率)	△354 (△20.3%)	31 (1.3%)	386	—
特別損益	△0	—	0	—
税引前四半期純利益 (△損失)	△354	31	386	—
法人税等	△104	14	119	—
四半期純利益 (△損失) (利益率)	△250 (△14.3%)	17 (0.7%)	267	—

第1四半期の業績推移

(単位：百万円)

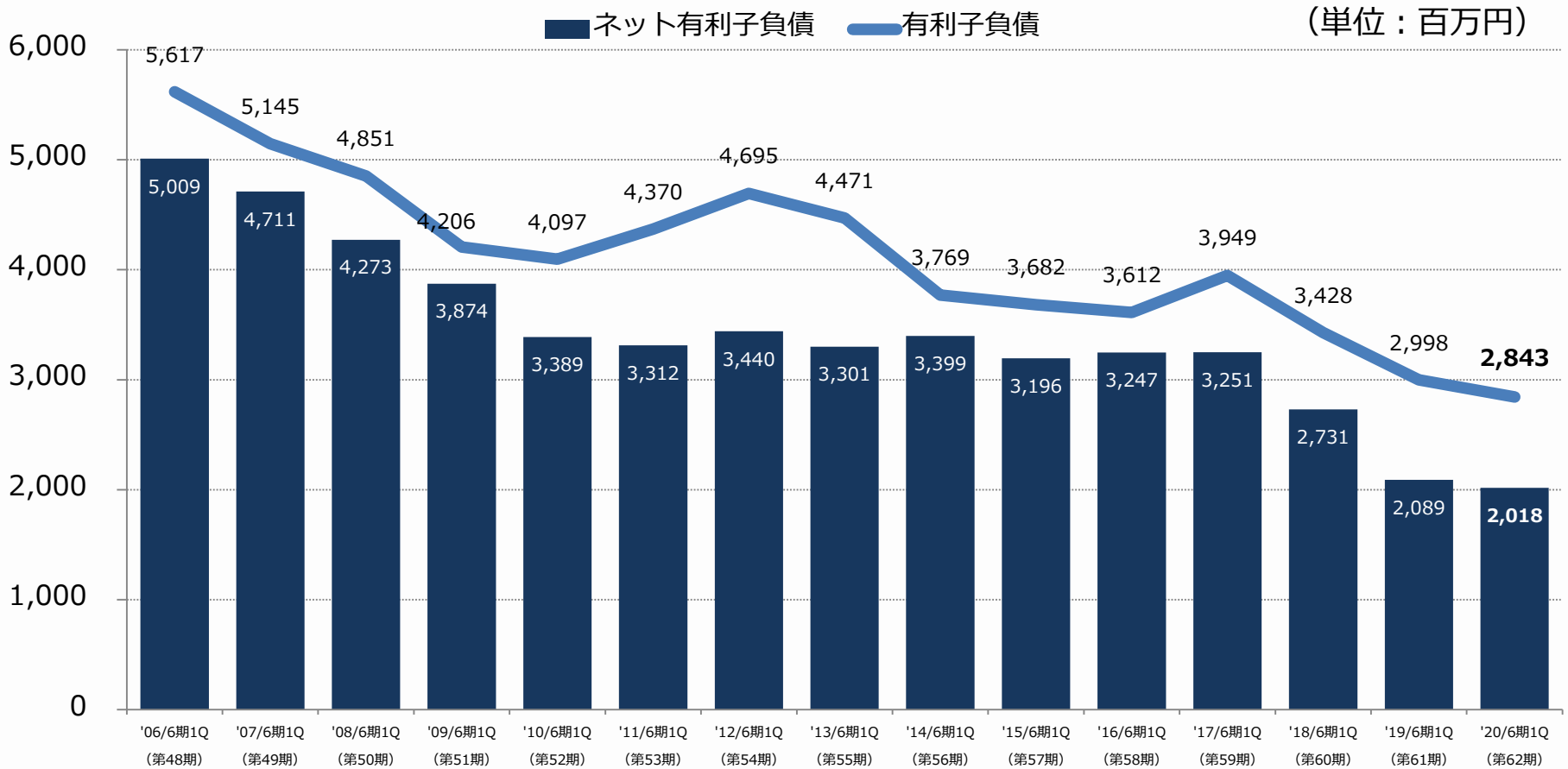


貸借対照表ハイライト

(単位：百万円)

科目	'19/6期 (第61期末)	'20/6期 (第62期1Q)	増減額	科目	'19/6期 (第61期末)	'20/6期 (第62期1Q)	増減額
現金及び預金	1,351	825	△526	短期借入金	10	610	600
受取手形・売掛金	1,415	1,349	△66	一年以内 長期借入金・社債	641	1,183	541
仕掛品	702	955	253	前受金	884	958	74
その他	726	978	252	未払費用	861	207	△653
				その他	1,238	1,264	25
【流動資産】	4,195	4,109	△86	【流動負債】	3,636	4,224	587
有形固定資産	5,053	5,030	△22	長期借入金・社債	1,736	1,049	△686
無形固定資産	439	416	△23	退職給付引当金	2,004	2,013	8
投資その他の資産	3,309	3,254	△55	その他	194	192	△1
投資有価証券	1,654	1,588	△66	【固定負債】	3,935	3,255	△679
関係会社株式	378	378	-	【負債の部】	7,572	7,479	△92
関係会社出資金	43	43	0	資本金	1,010	1,010	-
繰延税金資産	928	928	△0	資本剰余金	1,159	1,159	-
その他	305	316	10	利益剰余金	4,117	3,893	△223
【固定資産】	8,803	8,701	△101	自己株式	△851	△695	155
				その他有価証券 評価差額金	△9	△36	△27
				【純資産の部】	5,426	5,330	△95
【資産の部】	12,998	12,810	△187	【負債及び 純資産の部】	12,998	12,810	△187
借入金合計	2,388	2,843	455	自己資本比率	41.7%	41.6%	
ネット有利子負債	1,036	2,018	981				

ネット有利子負債の推移



(参考) キャッシュ・フロー計算書ハイライト

(単位：百万円)

	'19/6期 1Q (第61期)	'20/6期 1Q (第62期)	増減額
期首現預金残高	1,059	1,351	291
営業活動CF	△628	△865	△237
投資活動CF	△99	△30	68
フリーCF	△727	△896	△168
財務活動CF	577	369	△207
期末現預金残高	909	825	△84

営業活動CFの主な内容

主な営業活動CF	'19/6期 1Q	'20/6期 1Q	増減額
税引前四半期純損益	△354	31	386
売上債権の減少	1,054	140	△913
たな卸資産の増加	△443	△241	202

投資活動CFの主な内容

主な投資活動CF	'19/6期 1Q	'20/6期 1Q	増減額
有形固定資産の取得	△22	△9	12
無形固定資産の取得	△11	△10	0
投資有価証券の取得	△60	—	60

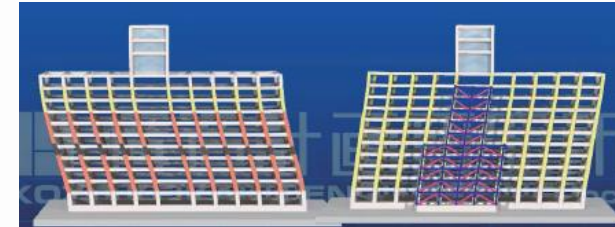
財務活動CFの主な内容

主な財務活動CF	'19/6期 1Q	'20/6期 1Q	増減額
短期借入金の純増	810	600	△210
長期借入金の純減	△100	△144	△44
配当金支払	△261	△235	26

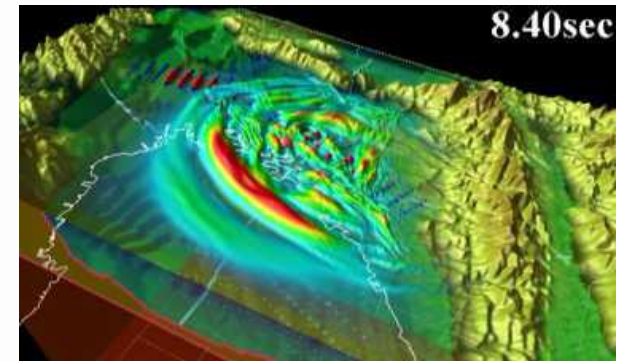
2 セグメント別状況



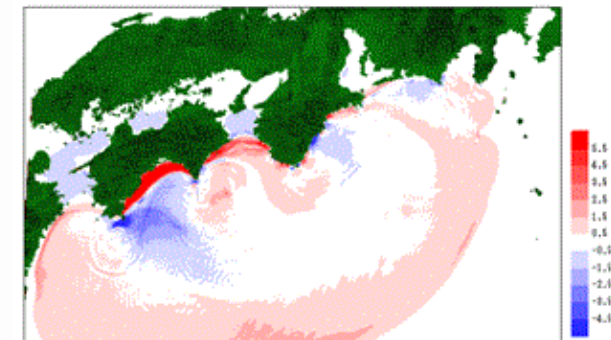
- 構造設計・構造解析コンサルティング
 - 高層建築設計、大規模建築物の構造解析
- 環境評価・防災コンサルティング
 - 地震動評価、風況解析、災害リスク評価
- 住宅・建設分野のシステム開発
 - CAD・BIM・構造計算を含むシステム開発
- 意思決定支援コンサルティング
 - 社会シミュレーション、最適化



構造物の耐震解析



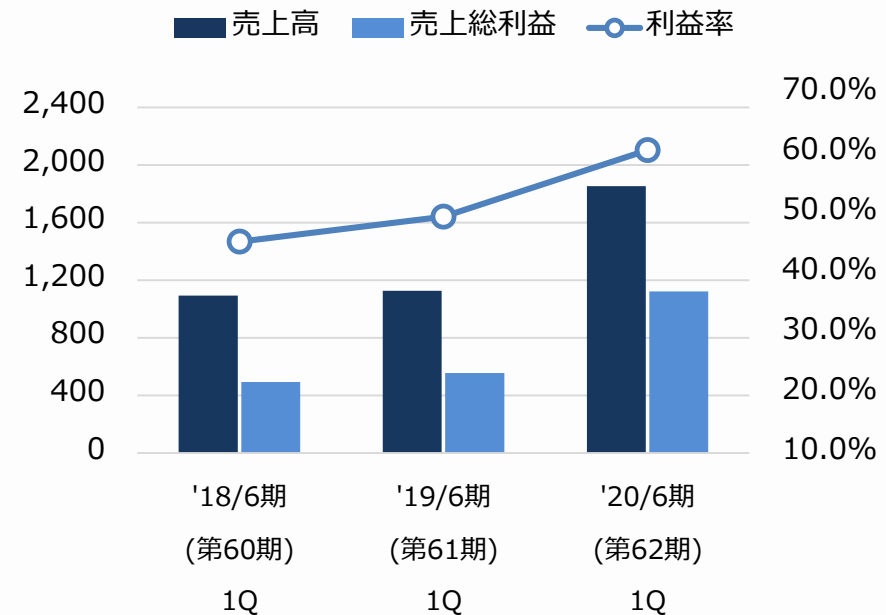
地震動シミュレーション



津波リスク評価

(単位：百万円)

	'18/6期 (第60期) 1Q	'19/6期 (第61期) 1Q	'20/6期 (第62期) 1Q	対前年同期 増減額
受注高	1,794	2,171	3,105	934
売上高	1,093	1,126	1,854	728
売上総利益	494	556	1,122	565
(利益率)	(45.2%)	(49.4%)	(60.5%)	
受注残高	4,928	5,401	6,446	1,044



業績分析

- 構造設計コンサルティング業務、住宅メーカーや建設・製造業向けシステム開発業務が堅調に推移
- 利益率の高い上記業務において事業活動が拡大したため、売上及び利益が順調

事業テーマ

製造業

CAE、熱流体解析、
粒子法、粉体解析、
営業支援ソリューション
等

構造・耐震解析

建築構造物解析、
地盤解析等

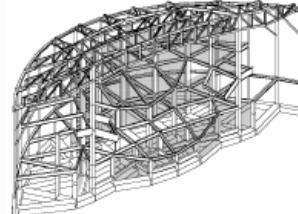
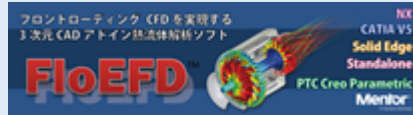
意思決定支援

社会シミュレーション、
リスク評価、最適
化等

情報通信・IoT

電波伝搬解析、
屋内ナビゲーション、
メール配信、
リモートロック等

パッケージ販売型の例



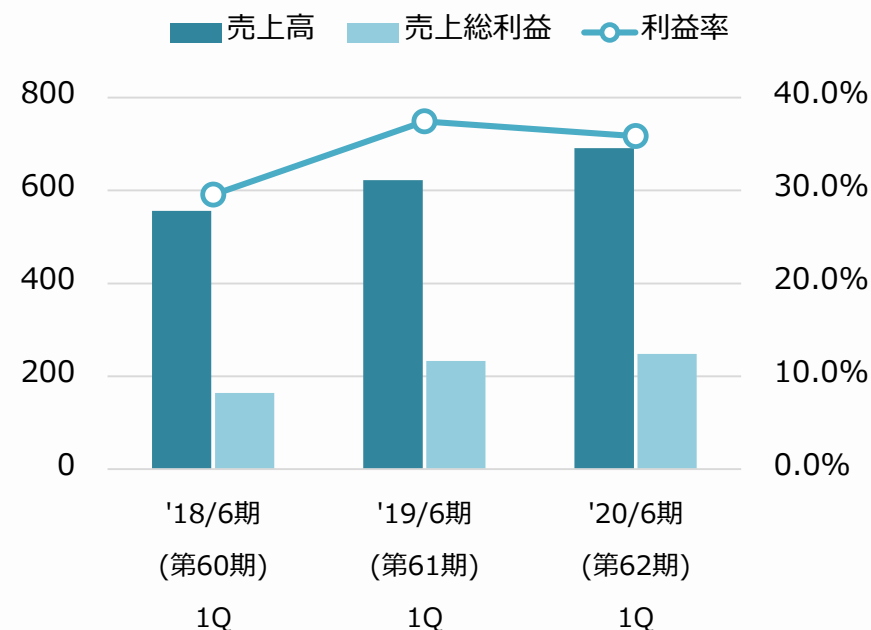
クラウドサービス提供型の例



NAVVIS

(単位：百万円)

	'18/6期 (第60期) 1Q	'19/6期 (第61期) 1Q	'20/6期 (第62期) 1Q	対前年同期 増減額
受注高	449	559	735	175
売上高	556	622	691	69
売上総利益	164	233	248	14
(利益率)	(29.5%)	(37.4%)	(35.9%)	
受注残高	886	1,000	1,126	125



業績分析

- 米国SendGrid, Inc.のクラウドベースメール配信サービスや米国LockState, Inc.の入退室管理クラウドサービスが順調に販売を拡大
- 設計者向けCAEソフト、粒子法流体解析ソフトの販売については、一部消費税増税の影響を受けつつ堅調に推移し、当セグメント全体としては着実に進捗している

3

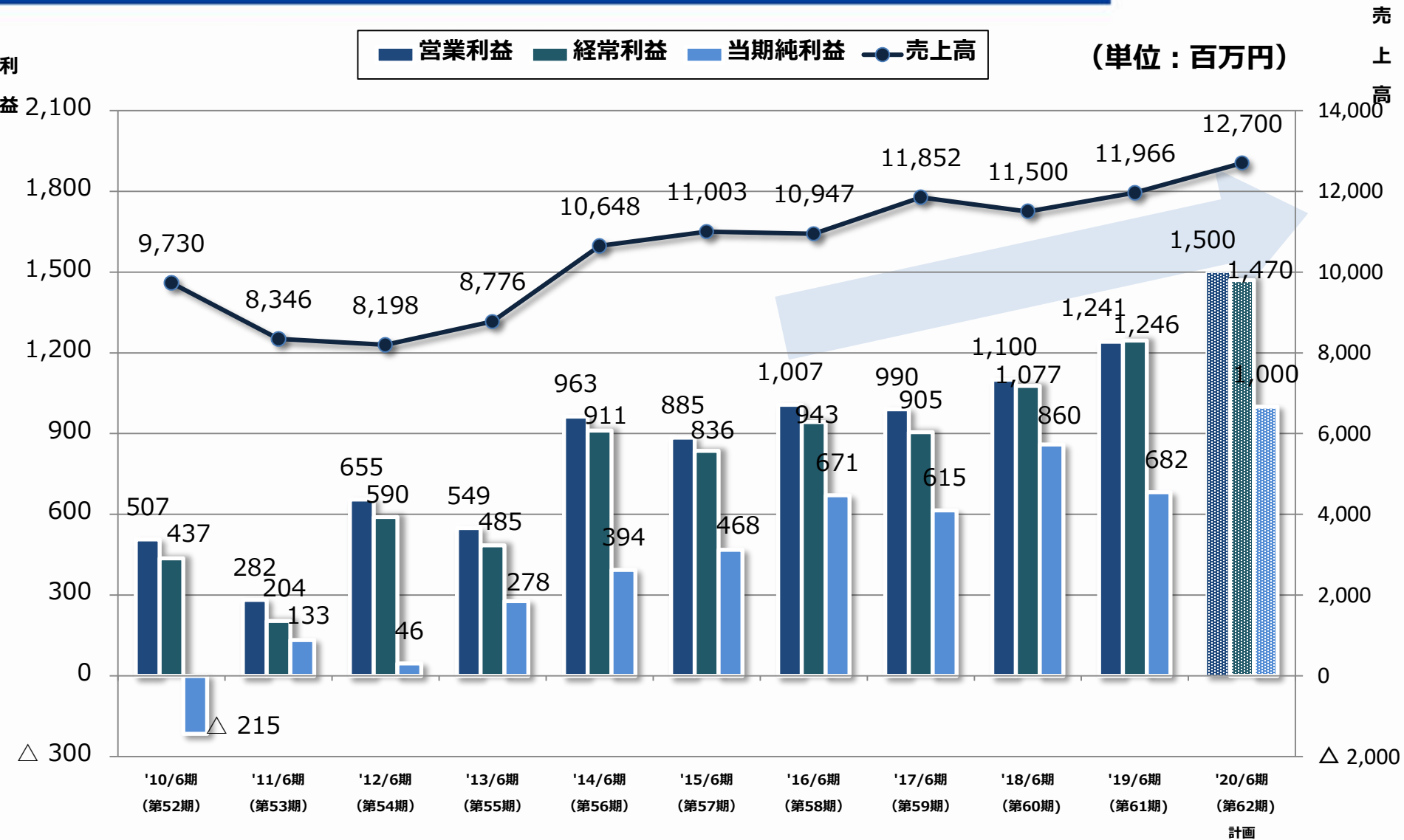
2020年6月期（第62期）の見通し



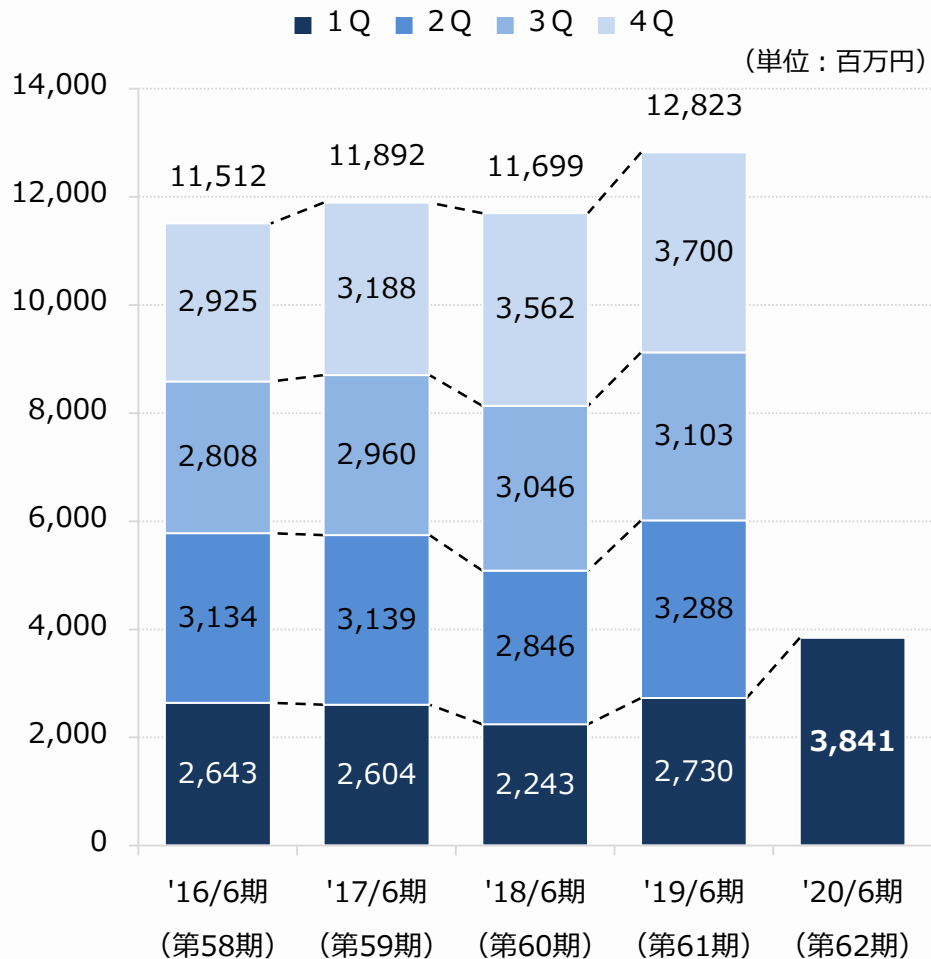
(単位：百万円)

	'19年6月期 第61期 (実績)	'20年6月期 第62期 (計画)	増減額	増減率
売上高	11,966	12,700	733	6.1%
営業利益	1,241	1,500	258	20.8%
経常利益	1,246	1,470	223	17.9%
当期純利益	682	1,000	317	46.5%
		(単位：円)		
年間配当金	90	100		

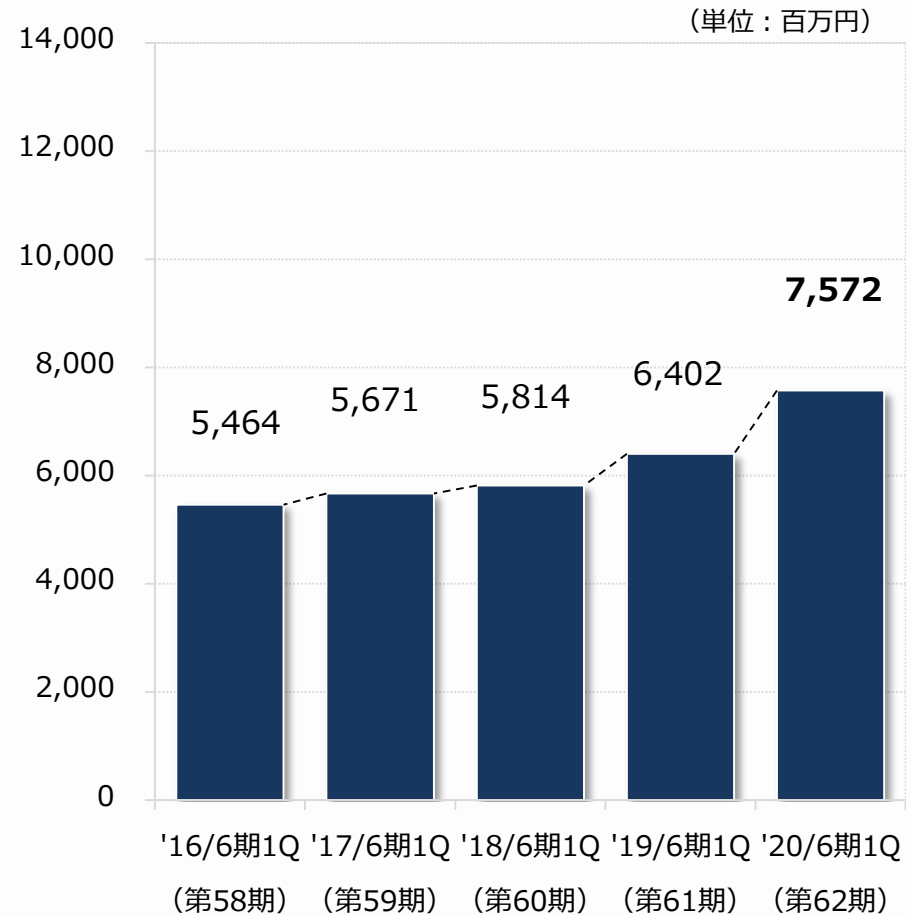
過去の業績推移と業績予想



受注高

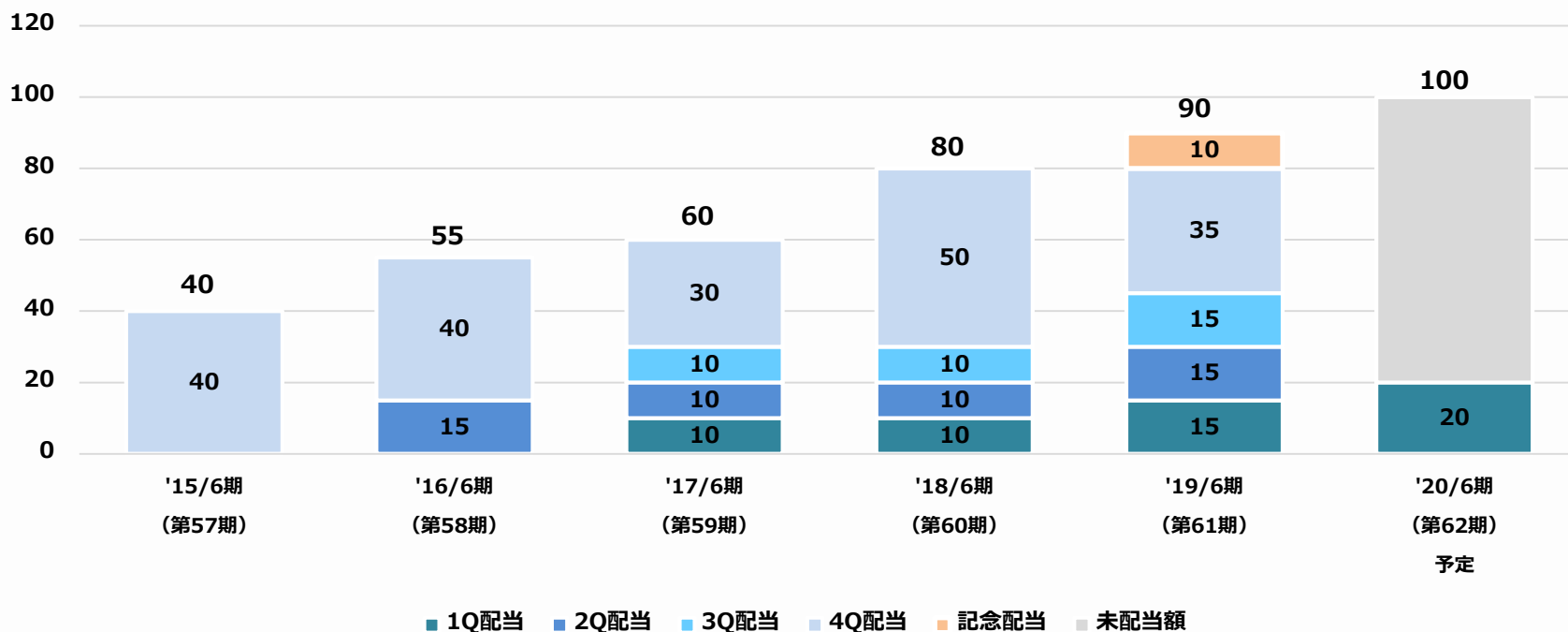


受注残高

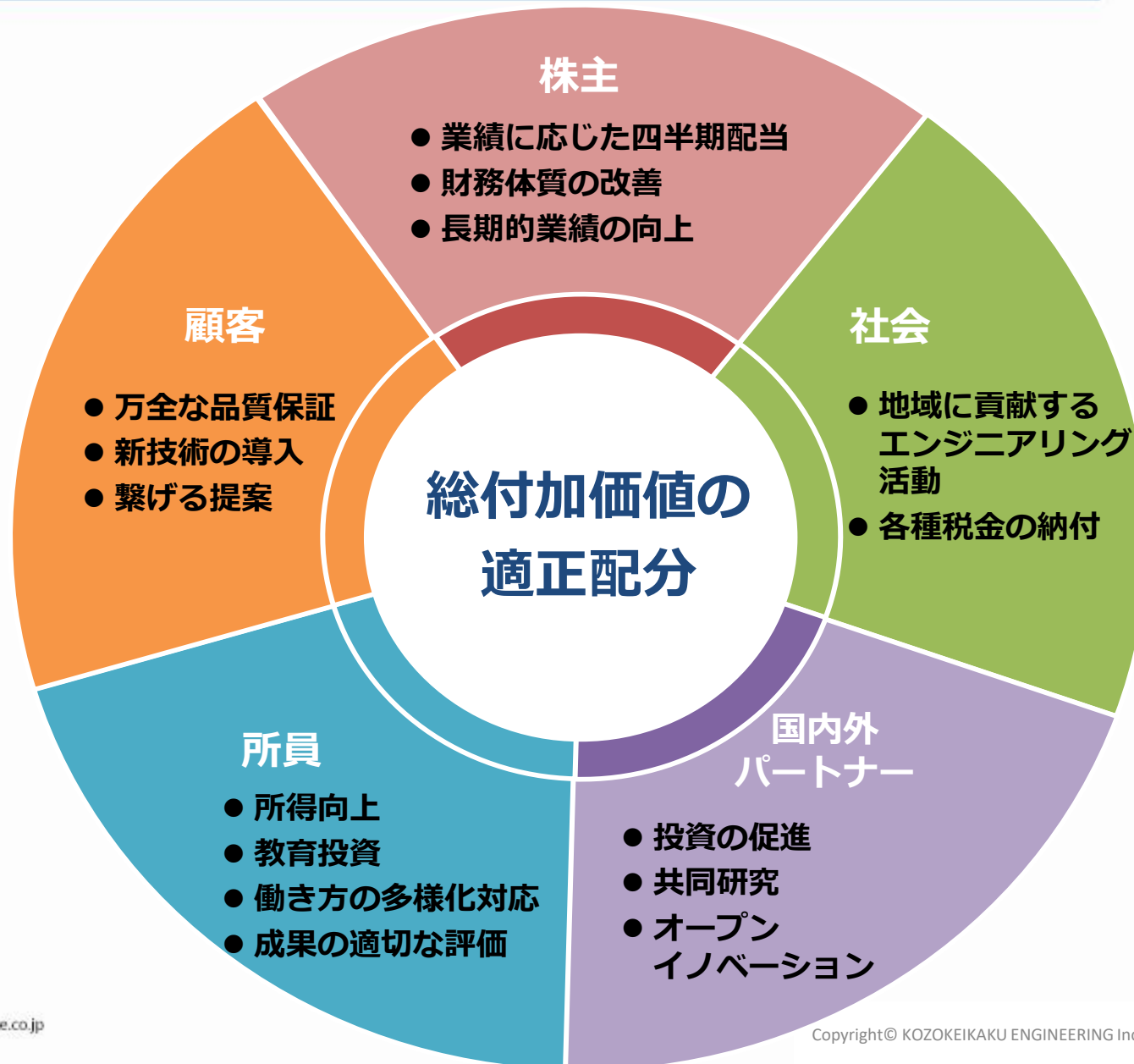


適切な内部留保と事業投資状況を勘案しながら 中長期保有株主への利益還元を重視

(単位：円)



- 2016年6月期（第58期）には中間配当制度を導入
- 2017年6月期（第59期）より四半期配当制度を導入
- 2019年6月期（第61期）には創立60周年記念配当を実施



Innovating for a Wise Future

工学知をベースにした有益な技術を
社会に普及させることで、
より賢慮にみちた未来社会を
ステークホルダーの皆様と共に創出していきたい

社会を創造するプロセスを重視し、
Innovatingを使用



【お問い合わせ先】

広報・IR室

T E L : 03-5342-1040

F A X : 03-5342-1042

E - M A I L : ir@kke.co.jp

H P : <https://www.kke.co.jp>

Innovating for a **Wise Future**